

茨城大学教職大学院 | 特色ある取組

Off-CTがもたらす学びと成果 —「わざ」に触れ、学び続ける教師へ

Off-CTが成立する3つの条件

- ① 実践知と子どもの実態が確認できる学校現場に身を置く
- ② 大学教員の傍でほぼリアルタイムに授業や子どもの所感を交換する
- ③ 子どもたちの日頃の様子をよく知る現職教員（熟達者）の意見を聞き、自らの思いも伝える

観 観る力

客観的な授業分析

授業者ではない立場だからこそ、児童生徒の反応や学級の空気、指導法の観察に集中できる。その結果、多角的に授業を読み解く目が育つ。

横 横断する力

教科・校種を越えた学び

教育方法コースの特徴である、専門教科や校種を越えて様々な授業に触れる学びの方針の下、教科内容を子どもの理解につなぐ工夫・指導を学ぶ。

共 共有する力

省察と対話

研修会の協議に参加し、現職教員の意図や暗黙知に触れながら、先生方と思いを共有する時間を共有する。

取組の実績（地域との連携）

参加実績：2024年度 計8回（小学校3・中学校5）／2025年度 計10回（小学校7・中学校3）

協力校（一部）：かすみがうら市内 小・中学校／鉾田市立鉾田南小学校／笠間市立友部第二中学校／潮来市立津知小学校／行方市立麻生中学校 ほか

成果 2年間の学びを経て、院生の**授業観・授業アイデアが質的に深化**。

今後も、大学院進学を見据えた学部3年次以降の長期的変容を把握すべく取り組んでいきます。